

入野小学校

『鍛える』

心豊かで、たくましい

子どもの育成

校長 筒井広実

◆はじめに

今年度は、学級数9（通常学級6、特別支援学級3）児童数148人でスタートしました。

今年度の教育目標は、昨年度に引き続き「鍛える」です。さまざまな場面で心身ともに「鍛えて」いきます。

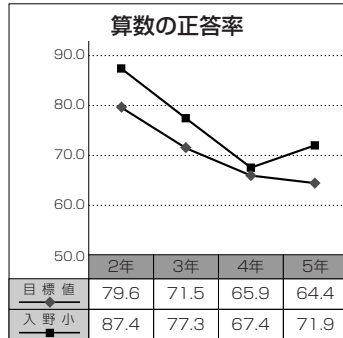
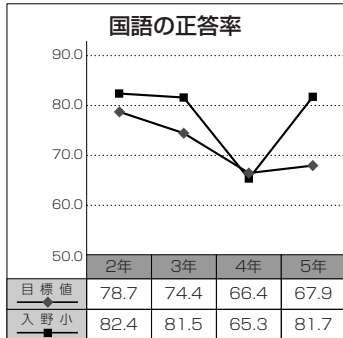
たとえば「困っている友だちがいたら声をかけ、助けることができる。」「できるだけ、歩いて登校することができる。（バス通学は除く。）」

そんな強い力を全校児童が身に付けることができますようになればと考えています。

「効果のある取り組みを」

最小の労力で最大の効果を出せるよう教職員が一丸となって頑張っています。

本年度の学力調査結果



◆学力の状況

全学年とも算数では、全国目標値を上回りました。国語においては、目標値とほぼ同程度の学年はありましたが、目標値を上回ることができませんでした。

今年度は、観点別、領域別に見ると、国語の「書くこと」「読むこと」に弱さがありました。昨年度の全国学力学習状況調査の分析でも同様の結果があり、今年度も引き続き、「書くこと」に重点をおいて取り組むことにしました。

◆学力向上への取り組み

①学習規律の徹底

言葉と行動の一致を目指し取り組みを行う。

②児童の参観授業

公開授業を利用して、「上級生の良さを学ぼう」というめあてで、6年生の授業を5年生が参観し、自分たちの学習を振り返る機会を設けた。

③間違いを活かす授業

間違ふことで大切なことに気づけた・深めれたという肯定的なとらえ方をし、間違っても真剣に取り組もうとする姿勢を評価する。

④早進児への手立て

課題が終わった児童に対して無駄な待ち時間を作らないような手だてをとる。

⑤ノート紹介

きれいな字を書くことを心がけ、自分の学習を振り返れるノートにすることを奨励する。3学期には「美しいノートコンテスト」を実施する。



美しいノートの掲示

◆特色ある学校づくり

【体験学習】

本校では5年生が、篠田光男さんと一緒に田植えと稲刈り体験を行っています。

ぬかるんだ田んぼへ入る経験がない子どもたちは、「足が抜けん!」といいながら、貴重な体験をさせてもらっています。秋には、収穫したお米を販売する予定です。



◆親子行事

（学年PTA主催行事）

各学年の保護者からなる学級委員さんを中心に親子行事を行っています。

今年度は、1・2年生はクッキング、3年生はバームクーヘン作り、4年生は親子ゲーム・ドッチボール、5年生は防災キャンプ、6年生は陶芸教室を行いました。



「鍛える」

これからも心と体を鍛え、「たくましい子ども」の育成を目指し、職員が一丸となってさらにすばらしい学校を目指します。

佐賀中学校

『人間を大事に』

『凡事徹底・凡事一流』

校長 島田義富

◆はじめに

本校では、長年教育目標を『人間を大事に』とし、人権・『同和』教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にした日々の生活や授業、部活動、学校行事に、全校挙げて取り組んでいます。

さらに、当たり前のことが当たり前ででき、そのレベルを上げていこう（凡事徹底・凡事一流）と、生徒会と協働した取り組みを行っています。また、本年度は、『自ら学ぶ力』を育てる指導方法の研究・考え・かかわり・つながり・高まる』を校内研究テーマとして、『基礎学力の定着と充実』および『仲間づくり』を推進するために、2つの部会を中心に校内研修を充実させるよう取り組んでいます。また、この3月に体育館が完成し、昨年完成した校舎と合わせて、すばらしい学習環境の下で学習に励んでいます。



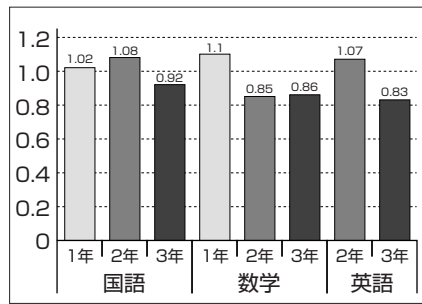
完成した佐賀中学校新校舎と体育館

◆『基礎学力の定着と充実』授業改善と家庭学習

下のグラフが学力の状況で、学年や教科によって課題があります。基礎学力の定着を図り学力を向上させるためには、日々の授業を充実させることが基本となります。そこで、チェックテスト（CT：授業始めの5分間テスト）を導入した「授業づくりのスタンダード」の取り組みに重点を置いています。このCTは、単元や期末の各テストにも反映されるもので、日々のCTで8割をクリア（8割未満は補充学習）していくことで各テストの高得点につなげ、成長の実感を味わわせ、学習意欲を高めることを目標にしています。

さらに、家庭学習の内容をCTと連動させ、内容の充実と成果につなげるようにしています。1学期末のアンケートでは、ほぼ全員の生徒が有用感を感じ、意欲的に取り組めたと答えています。CTへの取り組みが定着すれば、家庭学習の質と量の向上が図られ、基礎学力の定着と学力の向上につながると確信しています。

本校の標準および全国学力調査結果（全国を1とする）



◆『仲間づくり』学校行事を通して

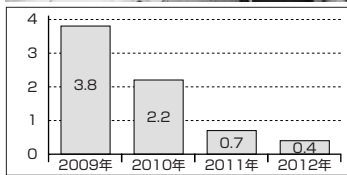
本校では、授業だけでなく学校行事や部活動を通して、仲間づくりをすすめています。その中でも本校の3大行事といえるのが、『佐中祭』運動会『人権集会』になります。特に『佐中祭』は、今年で13年目を迎える本校独自の行事で

す。昨年度からは開催時期を2学期にし、時間も午後日程にして、3年生をリーダーとする縦割り班の店舗活動やステージ発表を中心に行っています。生徒全員が心をこめて準備と練習を重ね開催するこの佐中祭は、地域に愛され親しまれる行事としてしっかりと定着しています。



大盛況の昨年度の佐中祭

また、学校給食については、ランチルームでの一斉給食を行っており、毎日楽しい雰囲気の中でおいしい給食を食べることができていて、残食なども大幅に減ってきています。



一斉給食と残食量の月平均割合

【防災教育】

近い将来必ず起こるであろうと言われている南海トラフでの地震による津波の高さが、最大34mを越える予測がなされ、津波からの避難が学校だけでなく地域全体の大きな課題となっています。

そこで今年度は、これまでの避難場所では高さ不足のため、想定される津波の高さにも対応できる場所へと避難経路の変更をしました。さらに、保育所・小学校・地域保護者にも呼びかけ、合同の避難訓練を6月に実施しました。左の写真はその時の様子です。

今回の避難訓練では、避難については、予想以上に迅速にできたものの、急傾斜地でも避難道として整備されていない今回のルートは、安全に避難するには不十分であるという課題が出されました。今後は、早急な避難道の整備を要求していきながら、こうした訓練を重ねていきたいと思っております。



初めての合同避難訓練